

4 地域のちから

7分野のうち、地域の財産である人やコミュニティ、文化・スポーツ等、地域に対する愛着や誇りを育むことにより、基本構想に掲げる将来都市像や基本的な目標(重点目標)の達成を目指します。

市民が主体的・積極的に活動でき、本市の魅力や再認識することにより、自分の住む地域に関心を持ち、地域に対する誇りを持つことも、多くの人が本市に集まり住まう大きな要素になると考えます。

そのためには、市民をはじめ、教育機関や民間企業等との協働を進めながら、まずはコミュニティの活性化、そして文化・スポーツ等様々な市民活動を重視した取組を進めます。これらの取組により柏のイメージアップが図られ、これを活かして、多くの人が本市に集まり、住まうことを促すような取組も併せて進めます。

また、コミュニティの活性化や様々な市民活動をはじめとする魅力ある地域づくりに必要となる、地域に集まり住まう多様な人々が連携・役割分担し、それぞれが活躍できるような取組も進めます。

(1) この分野で将来目指すべき方向性

★コミュニティを再構築・活性化する

増大・多様化する地域課題に対応するためには、行政だけではなく、地域で生活する市民が自ら主体的に地域の身近な課題解決に取り組むことが必要であり、将来都市像にある持続可能なまちの形成には地域力の強化が不可欠です。

市内の地域組織(町会・自治会・区等及びふるさと協議会⁹⁰等)における会員加入率の減少や担い手の不足等の課題に対し、地域で何かをしたいと考える人材の発掘・育成等、地域活動の活性化に注力します。

★文化・スポーツ等様々な市民活動をもり立てる

様々な地域課題の解決には、地域の担い手の発掘・育成等と併せて、市民が必要な情報を収集できたり、知識を習得できたりする必要があることから、生涯学習の推進や図書館を活用した情報収集・知識習得の支援を進めます。

郷土への愛着や市民としてのアイデンティティ⁹¹には、歴史・文化財とともに芸術文化の果たす役割は大きく、多くの市民が多様な文化活動に取り組んでいるものの、関わりの少ない市民や市外の人にとって、本市の文化的イメージは高くないことから、まちへの愛着・定着を高めるため、文化的イメージの向上が必要となっています。様々な文化・芸術活動の中でも、本市の強みである吹奏楽を活かしたまちづくりを進め、イメージ向上を図ります。

市内にはJリーグの柏レイソルをはじめ、テニス、バスケットボールや陸上等のスポーツ界で活躍するチームやアスリートが多数いる他、全国レベルのスポーツ大会で活躍する高校もある等、これらの豊富なスポーツ資源を活かし、まちへの愛着・定着を促進することも重要です。スポーツを「する」「見る」「ささえる」の中でも、将来の重点課題であり目標でもある「健康寿命」を意識し、またスポーツの実施率が低いことも踏まえ、「する」に着目し、地域での健康・体力づくりを進めます。

90【ふるさと協議会】市民と行政が一体となって住み良いまちづくりを推進することを活動目的とする「ふるさと運動」の推進組織。各地域の近隣センターを拠点に地域の実情に応じた様々な活動を行っている

91【アイデンティティ】国や地域等、ある特定の集団への帰属意識

(2) 目標達成に向けた主な実施手段の体系

(1)に掲げた全体的な方向性を踏まえ、基本構想に掲げる将来都市像や基本的な目標（重点目標）の達成に向けた実現手段として、具体的には次のような施策・取組・事業に注力していきます。体系図中、特に重点的に取り組むものを濃色にしています。

図表43 目標達成に向けた主な実施手段の体系（地域のちから）

目指す方向性	施策	取組	事業
★コミュニティを再構築・活性化する ★文化・スポーツ等様々な市民活動を盛り立てる	4-1. 地域への参加と活動の促進	1 地域コミュニティの活性化	1 自主的なまちづくり活動の支援 2 民間ノウハウを活用した施設運営管理 3 町会等加入の促進
		2 多様な市民活動の支援	1 啓発講座・イベントの開催 2 公益活動への支援 3 柏市民交流センターの運営管理と活用
		3 地域づくりに資する主体的な情報の共有	1 ニーズに即した地域情報の提供 2 市民参加型広報・広聴の仕組み作り 3 市民による地域情報発信の支援
	4-2. 多様な人々が連携・分担する地域社会の形成	1 教育機関と連携したまちづくり	1 大学や学生との連携促進
		2 国際化への対応	1 在住外国人への支援 2 姉妹友好都市 ⁹² との交流 3 国際理解の推進
		3 男女共同参画意識の向上	1 女性の活躍促進 2 ワーク・ライフ・バランス ⁹³ の推進 3 男女共同参画を目指す教育・学習の推進 4 人権に対する配慮
	4-3. 地域や社会の課題に対応した生涯学習の推進	1 地域や社会の課題に対応した学習支援	1 地域づくり参画のための学習支援 2 生涯学習情報の提供
		2 地域と人をつくる図書館の推進	1 市民の「知りたい」に応える図書館づくりの推進 2 本を通じた交流事業の推進 3 郷土行政資料の充実化 4 IT学習環境の整備
	4-4. 誇りの持てる文化の醸成	1 伯らしい文化活動の発展	1 音楽の街かしわの創出（吹奏楽を活かしたまちづくり） 2 柏市ゆかりの文化資源の維持・活用 3 市民の文化活動の支援
		2 歴史資料や文化財の保存・活用	1 柏市史の刊行 2 郷土資料展示室の知名度の向上と活用 3 歴史資料（古文書・写真等）・文化財資料の活用 4 歴史・文化財資料の保管・管理体制の整備
	4-5. スポーツを愛するまちの実現	1 地域での健康・体づくりの推進	1 トップアスリート講習会の開催 2 生涯スポーツきっかけづくり事業の推進 3 小学校運動教室の開催 4 競技スポーツの推進
		2 スポーツ交流を通じたまちづくり	1 総合型スポーツクラブの活動支援 2 ボランティア活動の促進 3 ホームタウン事業の推進
		3 スポーツをする場の確保	1 学校施設開放事業の推進 2 民間スポーツ施設との連携 3 指定管理者との連携によるスポーツ環境の充実
	4-6. 柏ブランドイメージの創出	1 シティプロモーションの推進	1 シティプロモーション関連事業の実施 2 観光情報の向上集約化

92 【姉妹友好都市】親善や文化交流等を目的とした自治体同士の提携。柏市ではトランス、グアム、カムデン、承德と締結し、教育・文化交流や災害時の相互応援等それぞれの都市と特色ある交流を行っている

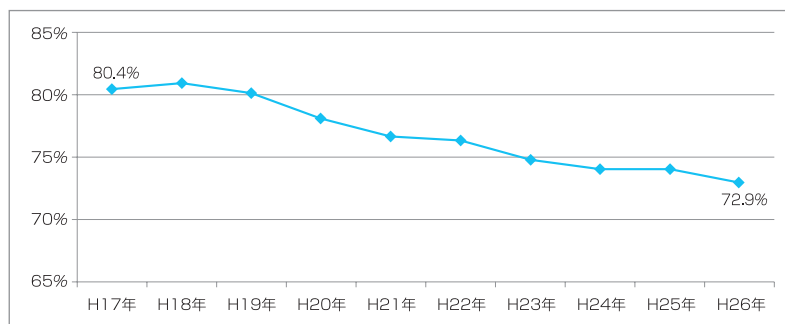
93 【ワーク・ライフ・バランス】働く全ての人々が、「仕事」と、子育てや介護、地域活動、趣味や学習等の「仕事以外の生活」との調和をとり、その両方にやりがいや充実感を感じ、多様な働き方、生き方が実現できること

施策 4-1 地域への参加と活動の促進

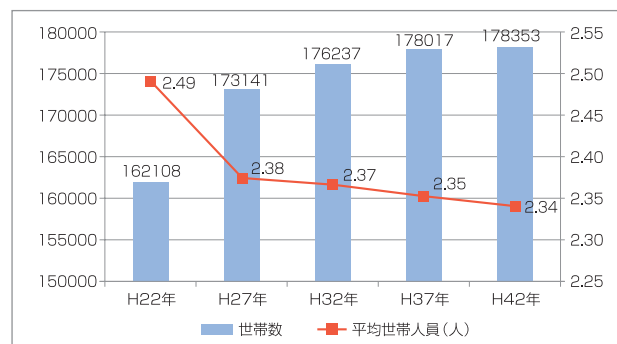
◎ 当該施策の現状分析（課題把握）

- 防災・防犯,子育て,高齢者福祉等,増大・多様化する地域課題に対応するためには,行政だけではなく,地域で生活する市民自らが主体的に地域の身近な課題解決に取り組むことが必要となっています。
- 町会・自治会・区等及びふるさと協議会等の地域組織は,良好な地域社会を維持形成するために長年活動をしています,会員加入率の減少や担い手の不足等により,地域力の低下が懸念されています。
- また,少子高齢化や核家族の進展,ライフスタイルや価値観の多様化等,市民生活を取り巻く環境が大きく変化し,地域のつながりの希薄化が進む中で,地域の中で暮らす人の孤立化が一層進む懸念があります。
- 中広域の地域組織には,町会等を活動の基礎単位としながら,他の組織・行政のエリア区分等と対象エリアの異なるものが多く,活動のしにくさが指摘されています。

図表44 自治会加入率（資料）地域支援課



図表45 柏市の世帯数と平均世帯人員の将来予測（資料）企画調整課



🌀 施策の実現によって目指す市の姿（施策の方針）

多くの市民が、コミュニティ・地域自治の意義や役割分担を理解し、町会やふるさと協議会等の地域組織に参加していて、様々な地域活動が行われています。

まちづくりの担い手となる人材が、後継者を育てながら、積極的に活動に取り組んでいます。また、より自発的・自立的な活動をしている地域団体があって、地域のまちづくりを担う先進モデル団体も複数存在しています。

● 施策実現のため、重点的に推進する取組

1 地域コミュニティの活性化

取組内容	様々な地域活動が活発に行われるよう、地域で積極的に活動する地域組織を側面から支援するとともに、コミュニティ活動への取組が困難な地域においても、自ら課題解決を図れるよう支援します。
重点事業 (実現手段)	1 自主的なまちづくり活動の支援（101ページ）

● その他の取組

取組名	2 多様な市民活動の支援 3 地域づくりに資する主体的な情報の共有
-----	--------------------------------------

● 関連する部門計画

※無し

● 進捗を測る指標

取組	指標	基準値	目指す方向性	備考
1	様々な地域活動に取り組む地域組織の割合	平成28年度に設定	↗	

🍷 取組1の重点事業の概要

1 自主的なまちづくり活動の支援

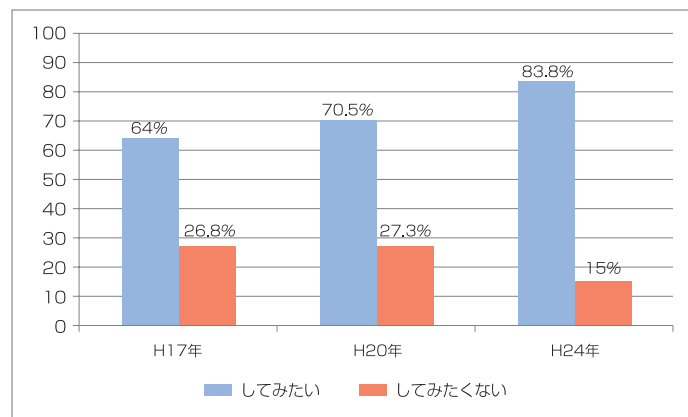
担当課	地域支援課					
事業内容	自主的に活発に活動する地域組織が、モデル地域として市内全域の地域活動を牽引するため、地域課題に積極的に取り組む地域組織を支援します。					
5年間のロードマップ	活動内容	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
	柏市地域活動支援補助金交付・申請相談	25件	25件	見直し	(左記による)	(左記による)
備考						

施策 4-3 地域や社会の課題に対応した生涯学習の推進

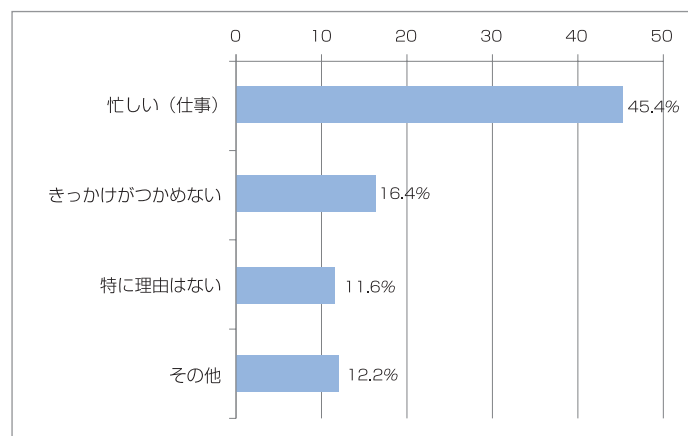
◎ 当該施策の現状分析（課題把握）

- 生涯学習に対する関心はさまざまな世代で高まっています。しかし、学習活動に費やす時間確保が困難等の理由から、生涯学習に取り組めないという人が数多く見られます。
- 少子高齢化や核家族の進展、ライフスタイルや価値観の多様化等、市民生活を取り巻く環境が大きく変化し、地域のつながりや支え合いの意識が希薄化していることから、生涯学習や図書館の活用による情報収集等を通じて身に付けた知識や技能を地域で活かし、複雑かつ多様化する地域課題の解決に取り組んでいくことが必要となっています。

図表46 生涯学習に対する関心の推移（資料）内閣府



図表47 生涯学習に取り組めない理由（資料）内閣府



🌀 施策の実現によって目指す市の姿（施策の方針）

市民の誰もが、いつでも、どこでも、自由に学習することができ、さらに、その学習成果を地域における課題解決等に役立てていて、暮らしやすい地域社会が形成されるとともに、自分達の住む地域に愛着をもっています。

● 施策実現のため、重点的に推進する取組

1 地域や社会の課題に対応した学習支援

取組内容	地域を支える人材を養成するため、地域の課題解決につながる学習活動を支援します。
重点事業 (実現手段)	1 地域づくり参画のための学習支援（104ページ）

2 地域と人をつくる図書館の推進

取組内容	地域課題を解決し、地域で活躍する市民を増やすため、地域の課題を知り、その対処法について考えられる資料を充実し、レファレンスサービス（調査相談）等の情報提供機能を強化します。また、知識を地域で活用できるよう、交流型の読書会や学習会を開催します。
重点事業 (実現手段)	1 市民の「知りたい」に応える図書館づくりの推進（104ページ）

● その他の取組

※無し

● 関連する部門計画

計画名	関連する取組
柏市生涯学習推進計画	1・2
柏市こども読書活動推進計画	2

● 進捗を測る指標

取組	指標	基準値	目指す方向性	備考
1	生涯学習講座受講者の活動実践率	平成28年度に設定	↗	
2	図書館ボランティア登録者数	343人 (平成27年度値)	↗	

取組1の重点事業の概要

1 地域づくり参画のための学習支援

担当課	生涯学習課，中央公民館					
事業内容	地域における課題の解決を図るため，生涯学習の観点から学習支援や講座の展開を図ります。					
5年間のロードマップ	活動内容	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
	まちづくり出前講座	実施	実施	実施	実施	実施
	公民館における現代課題講座・市民自主企画講座等	実施	実施	実施	実施	実施
備考						

取組2の重点事業の概要

1 市民の「知りたい」に応える図書館づくりの推進

担当課	図書館					
事業内容	地域の課題を市民が自ら解決できるよう，地域の課題解決に役立つ資料を収集し，市民が情報検索しやすいサービス環境を整えます。併せて，市民の疑問に応えるレファレンスサービス（調査相談）を充実するとともに，市民自らが情報検索を効率的に行えるよう，図書館活用講座等を開催します。					
5年間のロードマップ	活動内容	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
	データベース閲覧環境の拡充		データベース1件増設	データベース1件増設	データベース1件・PC1台増設	PC1台増設
	レファレンス環境の整備			レファレンスカウンター改修		
	資料コーナーの整備	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
	資料展示	年16回	年17回	年18回	年18回	年18回
	講座開催	年1回	年1回	年1回	年2回	年2回
	読書会・ビブリオバトル ⁹⁴ 支援	年1回	年1回	年1回	年2回	年2回
	学習イベントボランティアの育成		ボランティア室設置 研修年1回	研修年1回	研修年1回	研修年1回
備考						

94 【ビブリオバトル】 競技スタイルの書評発表会。決められたルールのもとでお薦め本を紹介し，会場の参加者全員が一番読みたい「チャンプ本」を決定する。柏市では，平成24年度から市内中学・高校生によるビブリオバトルを開催している

施策 4-4 誇りの持てる文化の醸成

◎ 当該施策の現状分析（課題把握）

- 柏市には市立柏高校吹奏楽部をはじめとした全国からみてもレベルの高い吹奏楽活動や、市民による活発な文化活動、800点を超える市所蔵の美術品、1,000地点を超える発掘調査の成果や40の指定・登録文化財、県内随一の10万点の市史資料といった豊かな文化資源があります。
- しかし、市内外の人にとって、柏市に対する文化的イメージは高くありません。
- 市民が誇れる柏市文化として発展させるためには、市がもつ文化の強みや特徴を十分に活かし、市内外に対して積極的にアピールする必要があります。

図表48 柏市立小・中・高吹奏楽の主な実績（資料）指導課

年度	大会名	受賞校	受賞内容
H25年度	東日本学校吹奏楽大会	酒井根西小学校	金賞
		柏第二小学校	金賞
	全日本吹奏楽コンクール	市立柏高校	金賞
		日本管楽合奏コンテスト	酒井根中学校
市立柏高校	文部科学大臣賞・最優秀グランプリ賞		
H26年度	全日本吹奏楽コンクール	酒井根中学校	金賞
		市立柏高校	金賞
	日本管楽合奏コンテスト	酒井根西小学校	文部科学大臣賞・最優秀グランプリ賞
H27年度	東日本学校吹奏楽大会	酒井根東小学校	金賞
		柏第三中学校	金賞
		大津ケ丘中学校	金賞
	全日本吹奏楽コンクール	酒井根中学校	金賞
		市立柏高校	金賞
	全日本マーチングコンテスト	市立柏高校	金賞
	日本管楽合奏コンテスト	酒井根東小学校	文部科学大臣賞・最優秀グランプリ賞
		大津ケ丘中学校	文部科学大臣賞・最優秀グランプリ賞
酒井根中学校		文部科学大臣賞・最優秀グランプリ賞	
市立柏高校		文部科学大臣賞・最優秀グランプリ賞	

🌀 施策の実現によって目指す市の姿（施策の方針）

市民の芸術文化活動や取組が活発に行われており、「柏の文化といえば～～である」という吹奏楽をはじめとした柏市の特色あふれる文化，地域の歴史・文化財の理解関心が高まっていて，文化の薫る魅力ある「まちづくり」が市民一体となって進められています。

● 施策実現のため，重点的に推進する取組

1 柏らしい文化活動の発展

取組内容	柏の特色あふれる文化活動が市内外に認知・評価されるため，吹奏楽をはじめとした音楽活動や柏市ゆかりの芸術家，美術作品等の市内の文化資源を活用して柏市文化を発展させます。
重点事業 (実現手段)	1 音楽の街かしわの創出（吹奏楽を活かしたまちづくり）（107ページ）

● その他の取組

取組名	2 歴史資料や文化財の保存・活用
-----	------------------

● 関連する部門計画

計画名	関連する取組
柏市芸術文化振興計画	1・2

● 進捗を測る指標

取組	指標	基準値	目指す方向性	備考
1	市内文化活動の認知度	平成28年度に設定	↗	

取組1の重点事業の概要

1 音楽の街かしわの創出（吹奏楽を活かしたまちづくり）

担当課	文化課，指導課					
事業内容	柏市が市内外から「音楽，吹奏楽の街」として認識され，様々な文化活動にも良い影響を与え，まちの活性化につなげるため，市立柏高校をはじめとする吹奏楽を活用した事業を広く開催し，情報発信を行います。					
5年間のロードマップ	活動内容	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
	かしわ塾 ⁹⁵ の開催	年1回 (2日間)	年1回 (2日間)	年1回 (2日間)	年1回 (2日間)	年1回 (2日間)
	音楽月間等の開催	年1回 (約1週間)	年1回 (約1ヶ月)	年1回 (約1ヶ月)	年1回 (約1ヶ月)	年1回 (約1ヶ月)
	市内公共ホール等を活用した音楽イベント補助		年1回 (約20団体)	年1回 (約20団体)	年1回 (約20団体)	年1回 (約20団体)
	市内音楽情報収集及び発信	通年	通年	通年	通年	通年
	大人向け音楽ワークショップ ⁹⁶ の開催		年1回	年1回	年1回	年1回
備考						

95 【かしわ塾】 市内在住で吹奏楽部等に所属している小学校6年生，中学校2，3年生の児童生徒を対象に，市立柏高校の吹奏楽部を講師として実施する参加型のワークショップ

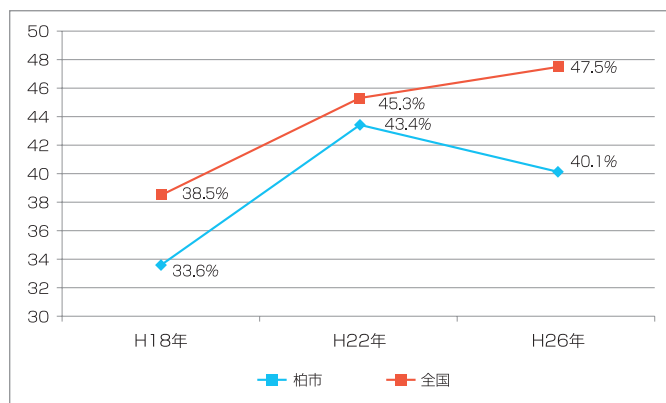
96 【ワークショップ】 体験したり意見を出しあう等自発的に活動しながら，学習や創作，問題解決等を行う手法

施策 4-5 スポーツを愛するまちの実現

◎ 当該施策の現状分析（課題把握）

- Jリーグの柏レイソルをはじめ、テニス、バスケットボールや陸上等のスポーツ界で活躍するチームやアスリートが多数いて、市立柏高校をはじめ全国レベルのスポーツ大会で活躍する高校や小・中学校等も存在していて、スポーツ活動が盛んなまちです。
- 市民スポーツとしても、手賀沼エコマラソンや各種市民大会等のスポーツイベントも複数開催されており、スポーツに熱心な市民も多くなっています。
- しかし、柏市民のスポーツ実施率（成人の週1回以上スポーツを実施する割合）は40.1%となっていて、文部科学省が目標とする65%の実施率を下回っている状況があります。

図表49 柏市民（成人）の週1回以上のスポーツ実施率 （資料）スポーツ課



🌀 施策の実現によって目指す市の姿（施策の方針）

誰もがスポーツを身近に楽しみ、趣味や生きがいとして生活が充実し、市民のスポーツ実施率（成人の週1回以上スポーツを実施する割合）が向上していて、様々なスポーツを通じ、人や地域がつながる活気のあるまちとなっています。

● 施策実現のため、重点的に推進する取組

1 地域での健康・体力づくりの推進

取組内容	市民の体力向上・健康増進・スポーツ技術の向上を図るため、世代やスポーツ習慣の有無等を考慮した取組を行います。
重点事業（実現手段）	1 トップアスリート講習会の開催（109ページ） 2 生涯スポーツきっかけづくり事業の推進（109ページ）

● その他の取組

取組名	2 スポーツ交流を通じたまちづくり 3 スポーツをする場の確保
-----	------------------------------------

● 関連する部門計画

計画名	関連する取組
柏市スポーツ推進計画	1・2・3

● 進捗を測る指標

取組	指標	基準値	目指す方向性	備考
1	スポーツ実施率(成人)	40.1% (平成26年度)	↗	

🍀 取組1の重点事業の概要

1 トップアスリート講習会の開催

担当課	スポーツ課					
事業内容	市民のスポーツに対する関心を高め、実施するきっかけとなるよう、また、技術の向上を図るため、トップアスリートによる講演会やスポーツ教室を実施します。					
5年間のロードマップ	活動内容	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
	講演会・教室の開催	年3回	年3回	年3回	年3回	年3回
備考						

2 生涯スポーツきっかけづくり事業の推進

担当課	スポーツ課					
事業内容	市民が、身近で気軽にスポーツを楽しめるきっかけを作るため、幼児と保護者から高齢者まで、各世代にあった運動、スポーツ体験教室や講習会等を実施し、誰もがスポーツに触れ合う機会を創出します。					
5年間のロードマップ	活動内容	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
	情報提供・情報の一元化	通年	通年	通年	通年	通年
	教室・講習会・講演・大会等の開催	年3回以上	年3回以上	年3回以上	年3回以上	年3回以上
	スポーツ推進委員活動の支援	70回実施	70回実施	70回実施	70回実施	70回実施
備考						